

「第17回 地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり」

平成21年度事業報告

目次

事業の概要
事業の成果

1. 開催概要
2. 主な催事内容
地域伝統芸能公演、開催記念式典、表彰式

平成21年度事業報告

【第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとつとりの開催】

【事業の概要】

財団法人地域伝統芸能活用センターは、毎年「伝統芸能全国フェスティバル」の全国大会を、日本財団の助成を受けて実施しております。

- ・「地域伝統芸能全国フェスティバル」は、日本各地に受け継がれてきた伝統芸能等の公演を通じて、観光及び地域商工業の振興と、伝統芸能の活性化を図ることを目的として、開催するものです。
- ・平成21年度は、鳥取県鳥取市において、当財団と鳥取県及び鳥取市との主催により、10月10日（土）及び11日（日）の2日間、開催しました。
- ・初日の10日には、メイン会場である「とりぎん文化会館・梨花ホール」において、当財団名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、開催記念式典と表彰式を挙行し、引き続き、伝統芸能の公演が行われました。
同日夕刻には、「出演者交歓の夕べ」を鳥取市内ホテルにおいて開催しました。
とりぎん文化会館においては、地域伝統芸能の公演に併せ、地域伝統工芸展、観光物産展等を開催しました。

【事業の成果】

- ・本年度の全国大会は、鳥取市内の二つの会場を中心に開催され、期間中は好天にも恵まれ、2日間で約1万5千人という多数の来場者があり、大きな盛り上がりの中で大成功裏に実施できました。
- ・期間中、市内は、全国各地や近隣諸国の優れたお祭りの披露と、それを鑑賞する多くの市民の熱気で包まれ、多くの観客に伝統芸能文化の素晴らしさ、楽しさを堪能していただくとともに、それらが演じられている地方のお祭りへの関心を高めて、地域の観光振興と商工業の振興にも貢献することができました。
- ・公演には、地元鳥取県内の高校生など郷土芸能に取り組む多くの青少年も積極的に参加し、地域の祭や伝統芸能を保存継承し、発展に結びつけることの大切さについても地域の理解を深めることができました。
- ・地元マスコミの関心も高く、連日、会場での公演や市内でのパレードの様子が、地元の新聞、テレビで大きく報道されたほか、終了後には、「伝統芸能を地域活性化の核と位置付けて、地元伝統芸能の継承、発展につなげてほしい」との社説も掲載されました。
- ・また、後日、全国大会への出演団体の紹介や、公演の様子が衛星放送の番組で全国に放映され、地域伝統芸能の楽しさ、素晴らしさを全国の家庭で直接鑑賞していただく貴重な機会となりました。

日本各地に受け継がれている伝統芸能を一堂に会して共演を行い、地域の皆様

へ伝統芸能の魅力を感じて頂くことは、地域の賑わいを創造することになり、地域の観光振興を図る上で極めて重要なことでもあります。

このような事業の実施を行い、地元の盛り上がりや青少年や多くの観客の皆様の伝統芸能に対する理解や、地域の発展に結びつけることができたことは、ひとえに日本財団の助成の賜であります。

ここに、平成21年度の事業の報告をさせて頂くとともに、日本財団に対する感謝の念を表すものであります。

1. 開催概要

- | | | |
|--------------|---|--|
| (1) 名称 | 称 | 第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり |
| 愛称 | 称 | 日本のまつり・2009鳥取 |
| (2) テーマ | マ | 鳥取まつり三昧
「祭りをせんとや生まれけむ 踊りをせんとや生まれけむ」 |
| (3) 期間 | 間 | 平成21年10月10日(土)～11日(日)2日間 |
| (4) 会場 | 場 | 鳥取県鳥取市
〔メイン会場〕 とりぎん文化会館・梨花ホール
〔サブ会場〕 コカ・コーラウエストスポーツパーク |
| (5) 主催 | 催 | 財団法人地域伝統芸能活用センター、鳥取県、鳥取市 |
| (6) 後援 | 援 | 国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK |
| (7) 助成 | 成 | 日本財団 |
| (8) 出演団体 | 体 | 県外18、県内145、海外7：合計170団体、
出演者数合計 3,299名 |
| (9) 会場の観客数 | 数 | 約1万5千人(2日間の合計) |
| (10) 全体の来場者数 | 数 | 約13万3千人(2日間の合計) |
- 若桜街道、鳥取駅前風紋広場、食のみやこ鳥取県フェスタの催しを含む全体の来場者数である(鳥取県による集計)。

2. 主な催事内容

○地域伝統芸能公演・開催記念式典・表彰式・地域伝統工芸展等

(1) 平成21年10月10日(土)

〔メイン会場〕 とりぎん文化会館・梨花ホール

○開催記念式典・表彰式(14:30～15:15)

開催記念式典・表彰式においては、主催者である当財団中村会長、鳥取県平井知事の挨拶に続き、ご臨席の高円宮妃殿下からお言葉を賜りました。その後、来賓の観光庁本保長官、経済産業省商務情報政策局富田審議官から祝辞をいただき、また、同じく主催者である竹内鳥取市長から挨拶をいただきました。

引き続き、平成21年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰式が6団体・個人を対象に行われ、受賞者には中村会長から表彰状が、高円宮妃殿下から記念メダルが授与されました。

○地域伝統芸能公演（15:15～18:00）

- ・全国のまつり 17団体・個人

秩父祭（埼玉県）、藤守の田遊び（静岡県）、登米秋祭り（宮城県）、庄内神楽（大分県）、大田守邦（沖縄県）、新潟下駄総踊り（新潟県）、その他の団体が出演

- ・鳥取県のまつり 145団体

麒麟獅子舞、因幡の傘踊り、倉吉打吹太鼓、淀江さんこ節、米子がいな万灯、その他の団体が出演

- ・外国のまつり 7団体

韓国伝統舞踊（韓国江原道）、中国伝統舞踊（中国吉林省）、その他の団体が出演。

[サブ会場] コカ・コーラウエストスポーツパーク

- オープニングセレモニー（10:10～10:30）

- 地域伝統芸能公演（10:30～15:30）

県外7団体、県内7団体、海外3団体、計17団体が出演

[市内ホテル]

- 出演者交歓の夕べ（19:00～20:15）

地域伝統芸能公演終了後、高円宮妃殿下のご臨席のもと、市内ホテルにおいて「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」及び「地域伝統芸能奨励賞」受賞者をはじめ、県内外、海外の出演団体の代表者に多数参加いただいて、「出演者交歓の夕べ」が和やかに開催されました。

(2) 平成21年10月11日(日)

- 地域伝統芸能公演

[メイン会場] とりぎん文化会館・梨花ホール（13:00～17:00）

県外4団体、県内8団体、海外3団体 計15団体が出演

[サブ会場] コカ・コーラウエストスポーツパーク（10:30～15:00）

受賞4団体、県外3団体、県内6団体、海外4団体

計17団体が出演